FUJIFILM

はじめにお読みください

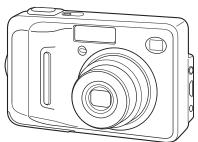
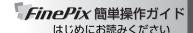
DIGITAL CAMERA

DIGITAL CAMERA

FinePix A500

使用説明書/ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックスA400/ファインピックス
A500および付属のソフトウェアの使い方が
まとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/またはhttp://finepix.com/

BL00529-100(1)

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

重　要

お客様へ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士写真フイルム株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士写真フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。
富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1. 定義
（1）本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROM「Software for FinePix」を指します。
（2）本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。
（3）関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。
（4）本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

2. 使用権の許諾
富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。
①機械読み取り可能な形式で、１台のコンピュータに本ソフトをインストールし、使用する権利
②バックアップ目的にて本ソフトを１部に限り複製する権利

3. 禁止事項

（1）お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。

（2）お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。

（3）お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。

（4）お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4. 著作権その他の知的財産権

本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5. 保証および免責

（1）お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。

（2）本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。

（3）本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第(1)項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6. 責任の制限

富士フイルムは、「5．保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7. 輸出関連法の遵守

お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8. 解除

お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8．解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10.契約終了後の義務

本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
表示される画面やメニューが本書と異なる場合がありますがご了承ください。

まずお確かめください（付属品）

下記の付属品がすべてそろっているかお確かめください。

● 単3形アルカリ乾電池 LR6（2本）

● ストラップ（1本）

● 専用ビデオケーブル（1本）
φ2.5mmミニミニプラグ×ピンプラグ

● USBケーブル（mini-B）（1本）

● CD-ROM（1枚）
Software for FinePix

● 使用説明書（本書1部）

● 安全上のご注意（1部）

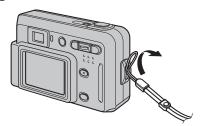
● 保証書（1部）

ストラップを取り付ける

ストラップを取り付ける

❶❷の手順で取り付けます。
止め具を❶の図のように根元から少し離した状態で取り付けを行ってください。

❶

❷

ストラップを使う

❶ストラップを手首に通します。

❷止め具をスライドさせ、落とさないように手首に固定します。

FinePix 簡単操作ガイド

このガイドで基本的な使いかたを覚えて、さっそく写真を撮ってみましょう。

1. まずは準備から・・・

ふんふん、
向きに注意
するわけね

電池を入れる（➡P.20）

電源を入れる/日時を設定する（➡P.26、P.27）

"POWER"（電源）ボタンを押して電源を入れます。

日時設定が
クリアされています
OK 設定　BACK あとで

初めて電源を入れると、上の画面が表示されます。

日時の設定を行います。

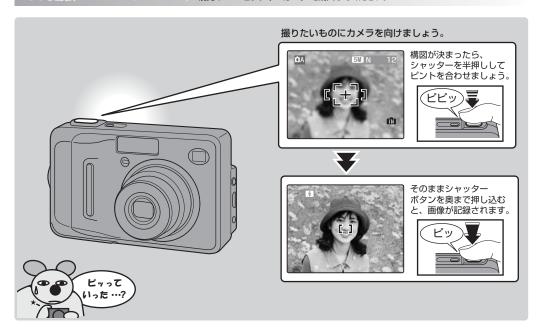
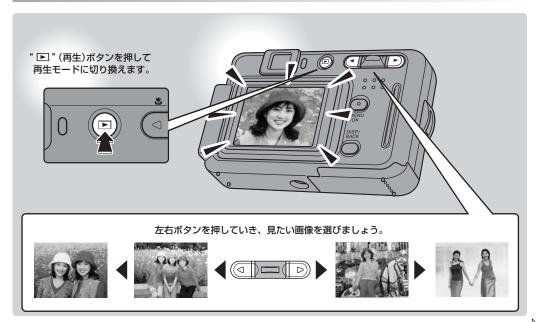
※日時を再設定する（➡P.29）

次ページにつづく

2. 撮影してみましょう

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても撮影できますが、多くの枚数を撮影するときは、別売の **xD-ピクチャーカード** を購入してください。

3. 撮影した画像を見てみましょう

次ページにつづく

撮影した画像をプリントしてみましょう

PictBridge 機能を使用してプリントできます（➡P.85）

❶ カメラ側の設定をして、電源を切ります。

❷ プリンターの電源が切れていることを確認してから、USBケーブルでカメラとプリンターを接続します。

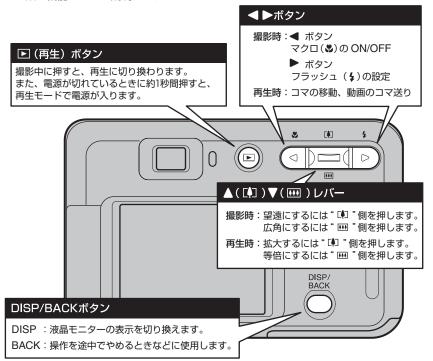
❸ カメラとプリンターの電源を入れます。

❹ プリントしたい画像を選び、枚数を設定します。

❺ プリントを開始します。

※詳しいこと、わからないことは本編で確認しましょう。

簡単にボタン類と機能について説明します。

次ページにつづく

メニューの操作方法

❶ メニューを表示する
"MENU/OK" ボタンを押します。

❷ 設定したい項目を選ぶ
◀ ▶ボタンを押します。

❸ 設定を変更する
▲▼レバーを押します。

❹ 設定を決定する
"MENU/OK" ボタンを押します。

◆ガイダンス（案内）表示について◆

画面下部に、次のステップに進むためのガイダンス（案内）が表示されますので、対応するボタンを押してください。
右の画面の場合、消去するには "MENU/OK" ボタンを、やめるには "DISP/BACK" ボタンを押します。

目次

次ページにつづく

もっと使いこなそう（動画編）

カメラの設定を変える

プリンターなどに接続する

ソフトウェアを使う

お使いになる前に

ご使用になる前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された**xD-ピクチャーカード** の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

次ページにつづく

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意ください

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入ると、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意ください

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。
また、**xD-ピクチャーカード** に水滴がつくことがあります。このようなときは **xD-ピクチャーカード** を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 商標について

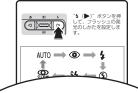
- xD-Picture Card、**xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™** は富士写真フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

本書について

■ 見出しの横にあるマークは、この操作が行えるモードを示しています。

・A（オート）	・（人物）	・（風景）
・（スポーツ）	・（夜景）	・M（マニュアル）

注意

カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

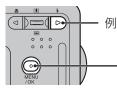
チェック！

実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ

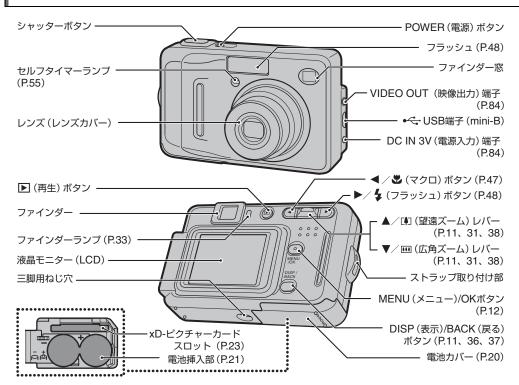
カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

■ **ボタンのイラストについて**

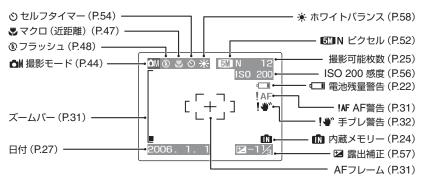
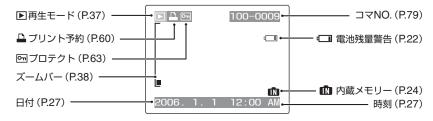
本書ではボタンを図のように説明しています。

例：▶ボタンを押すとき

MENU/OKボタンを押すとき

各部の名前

＊（　　）内のページに詳しい説明があります。

液晶モニターの表示例

※ FinePix A500の画面です。

■ 静止画撮影時

■ 再生時

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても、カメラの内蔵メモリーにより、撮影できます。内蔵メモリーを使用しているときは、液晶モニターに“IN”が表示されます。

電池を入れる

デジタルカメラには、動かすための電池が必要です。まずは電池をカメラに入れましょう。

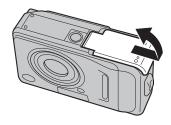
■ 使用する電池

単３形アルカリ乾電池(２本)、または単３形ニッケル水素電池(２本：別売)

注意

- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用

外装チューブ

- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 単3形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

❶ 電池カバーを開けます。

チェック！

電池カバーを開けるときは、必ず電源が切れていることを確認してください。

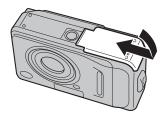
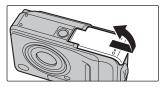
注意

- 電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。**xD-ピクチャーカード** または画像ファイルなどが壊れることがあります。
- 電池カバーに無理な力を加えないでください。

❷電池を表示に従って正しく入れます。

注意

カメラ本体の表示に合わせてください。

❸電池カバーを閉めます。

電池を取り出すには

必ず電源を切ってから電池カバーを開け電池を取り出してください。

注意

電池を取り出すときは電池を落とさないようご注意ください。

次ページにつづく

電池残量について

電源を入れ、液晶モニターで電池残量を確認します。

① 電池の残量は十分にあります（表示なし）。

② 電池の残量が不足しています。新しい電池を準備してください（赤点灯）。

③ 電池残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください（赤点滅）。

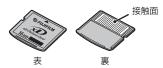
注意　電池について

- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～＋10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足の表示が早く出る場合があります。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。
- 電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示が出ないでカメラの電源が切れることがあります。一度、電池切れになった電池を再使用した場合にはこの現象が起こりやすくなります。
- モードによっては“▮”から“▯”になるまでの時間が短くなることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池は、別売の充電器で充電してください。
- 「電池についてのご注意」→117～118ページ
- お買上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については118ページをご参照ください。
- カメラの動作状態により消費電力は大きく変化します。
  このため、電池を使用中に撮影モードから再生モードへ切り換えた場合に、“▮”が点灯せず、“▯”が点滅し、動作が終了する場合があります。

メディアを入れる

本機では内蔵メモリーで撮影できますが、メディアを使うとよりたくさんの写真を撮影できます。メディア(別売)をカメラに入れましょう。

■ 使用する xD-ピクチャーカード™（別売）

・DPC-16（16MB）
・DPC-32（32MB）
・DPC-64（64MB）
・DPC-128（128MB）
・DPC-256（256MB）
・DPC-M256（256MB）
・DPC-512（512MB）
・DPC-M512（512MB）
・DPC-M1GB（1GB）

メモ

xD-ピクチャーカード には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。
本カメラはType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。

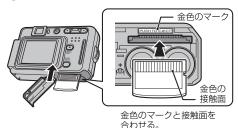
❶ 電池カバーを開けます。

❷ xD-ピクチャーカード を入れます。

金色のマークと接触面を合わせる。

❸ 電池カバーを閉めます。

準備する

次ページにつづく

xD-ピクチャーカード を取り出すには

カードを押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。
押し出されたあと、引き出せます。

注意　メディアについて

- **xD-ピクチャーカード** は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- **xD-ピクチャーカード** の向きが間違っていると奥まで入りません。無理な力を加えないでください。
- ロックが外れた直後に **xD-ピクチャーカード** から急に指をはなすと、**xD-ピクチャーカード** が飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 本機での動作保証は弊社製 **xD-ピクチャーカード** のみとなります。
- 「**xD-ピクチャーカード** ™、内蔵メモリーについてのご注意」→121ページ

メモ

- ピクセルが大きいほど画質が良くなり、小さいほど1枚の **xD-ピクチャーカード** により多くの枚数を記録することができます。ピクセル設定の変更は52ページをご参照ください。
- 被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。

内蔵メモリーについて

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても、カメラの内蔵メモリーにより、撮影できます。内蔵メモリーを使用しているときは、液晶モニターに“IN”が表示されます。

xD-ピクチャーカード (別売)が挿入されているとき
[撮影した画像]： **xD-ピクチャーカード** に記録されます。
[再生画像]： **xD-ピクチャーカード** 内の画像を再生します。

xD-ピクチャーカード (別売)が挿入されていないとき
[撮影した画像]： 内蔵メモリーに記録されます。
[再生画像]： 内蔵メモリーの画像を再生します。

内蔵メモリー内の画像について

内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア(ハードディスク、CD-R、CD-RW、MOディスクなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
また、内蔵メモリーへ保存した画像は、**xD-ピクチャーカード** へコピーできます(→66ページ)。

xD-ピクチャーカード、内蔵メモリー標準撮影枚数

次の表は、内蔵メモリー、新しい **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。

FinePix A400

ピクセル	4M F	4M N※	3:2	2M	1M	03M
記録画素数	2304×1728（約398万）		2304×1536（約354万）	1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
内蔵メモリー（約12MB）	5	11	13	19	25	93
16MB	7	15	17	25	33	122
32MB	15	31	35	50	68	247
64MB	32	64	72	101	137	497
128MB	64	128	144	204	275	997
256MB	129	257	290	409	550	1997
512MB	259	515	580	818	1101	3993
1GB	519	1031	1162	1639	2205	7995

※ 工場出荷時の設定です。

FinePix A500

ピクセル	5M F	5M N※	3:2	3M	2M	03M
記録画素数	2592×1944（約504万）		2592×1728（約448万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）
内蔵メモリー（約12MB）	4	9	10	15	19	93
16MB	6	12	13	19	25	122
32MB	12	25	28	40	50	247
64MB	25	50	56	81	101	497
128MB	51	102	113	162	204	997
256MB	102	204	228	325	409	1997
512MB	205	409	456	651	818	3993
1GB	412	819	913	1305	1639	7995

※ 工場出荷時の設定です。

電源を入れる/切る

撮影モードで電源を入れる

“POWER”（電源）ボタンを押すと、電源が入ります。
もう一度押すと、電源が切れます。

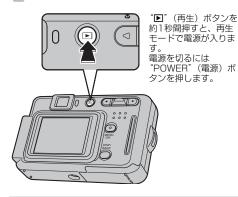
メモ　撮影と再生の切り換え

撮影中に“▶”（再生）ボタンを押すと再生モードになります。
シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

注意

- 撮影モードで電源を入れたときはレンズ部が動き、レンズカバーが開きます。レンズ部を手で押さえていると、誤作動や故障の原因になります。
- レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

再生モードで電源を入れる

“▶”（再生）ボタンを約1秒間押すと、再生モードで電源が入ります。
電源を切るには“POWER”（電源）ボタンを押します。

メモ

撮影モードに切り換えるには、シャッターボタンを半押ししてください。

日時を設定する－初回時

ご購入後初めて電源を入れたときは、日時が設定されていません。確認画面が表示されますので、日時を設定しましょう。

❶ 電源を入れると確認画面が表示されます。

“MENU/OK”ボタンを押して、日時設定の画面を表示します。

❷ 日時を設定します。

① 設定したい項目（年、月、日、時、分）を選びます。

② 日時を設定します。

次ページにつづく

❸ 日付の並び順を変更します。

① “日付の並び順” を選びます。

② 並び順を設定します。

③ “MENU/OK” ボタンを押すと、設定が完了します。

日付の並び順について

例）2006年1月24日
YYYY. MM. DD : 2006.1.24
MM/DD/YYYY : 1/24/2006
DD. MM. YYYY : 24.1.2006

メモ

- 設定中に▲または▼を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時設定で12を越えると自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。
- 電池を取り外して長期間保管したときも日時設定がクリアされ確認画面が表示されます。ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。

日時を設定する−再設定時

❶SET-UPメニューを表示します。

① “MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

② “SET” 各種設定を選びます。

③ “SET-UP” を選びます。

④ “MENU/OK” ボタンを押して、SET-UPメニューを表示します。

❷日時設定の画面を表示します。

① “見出し番号3” を選びます。

② “日時設定” を選びます。

③ 日時設定の画面を表示します。
➡「日時を設定する−初回時」(→27ページ) の手順❷をご参照ください。

準備する

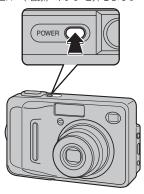
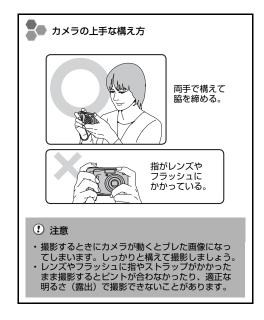
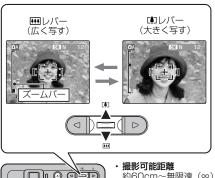
静止画を撮影してみましょう（📷Aオート撮影）

ここでは撮影の基本的な流れを説明します。ピント合わせなど、どんな状況でも必要な操作ばかりなので、まずはここをしっかりおさえておきましょう。

❶ 電源を入れます。

“POWER”（電源）ボタンを押します。

注意

- 撮影するときにカメラが動くとブレた画像になってしまいます。しっかりと構えて撮影しましょう。
- レンズやフラッシュに指やストラップがかかったまま撮影するとピントが合わなかったり、適正な明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

❷ 液晶モニターで構図を確認します。ズームレバーで大きさを調節しましょう。

- **撮影可能距離**
  約60cm〜無限遠（∞）
- **光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）**
  約38mm〜約114mm相当
- **最大ズーム倍率**
  3倍

メモ

- 近くのものを大きく撮影したいときは“”マクロに設定してください（→47ページ）。
- デジタルズームでさらに大きく撮影できます（→80ページ）。

❸ 被写体にAFフレームを合わせて、シャッターボタンを半押しします。

AFフレーム　半押し　AFフレームが小さくなりピントが合います。

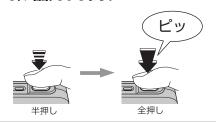
チェック！

- **ピントが合ったとき**
  ピピッと音が鳴る、ファインダーランプが点灯［緑］
- **ピントが合わなかったとき**
  音が鳴らない、“**!AF**”が表示される、ファインダーランプが点滅［緑］

メモ　半押しとは

シャッターボタンを軽く押すと途中で少し止まるところがあります。そこまで押すことを半押しといいます。半押ししたときにピントと明るさが決まります。

次ページにつづく

❹ 半押しの状態からさらに押し込んで（全押し）、撮影しましょう。

注意

フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

メモ

- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。
- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（→34ページ）。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。

フラッシュ撮影について

フラッシュが発光する場合、半押ししたときに液晶モニターに"⚡"が表示されます。

フラッシュを発光させたくないときなど、設定を変更する場合は48ページをご参照ください。

注意　撮影時の注意

- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（→37ページ）。
- シャッタースピードが遅く、手ブレしやすい状態のときは、液晶モニターに"!✋"が表示されます。表示された場合はフラッシュ撮影をするか三脚を使用してください。
- 警告表示については123〜126ページをご参照ください。そのほか疑問に感じたことなどがありましたら、「困ったときは」（→127〜130ページ）をご参照ください。

■ ファインダー撮影について

“DISP/BACK”ボタンを押すと、液晶モニターがOFFになり、ファインダー撮影することができます。液晶モニターをOFFにすると電池が長持ちします。

ファインダー

ファインダー中央で被写体をねらいピントを合わせます。
被写体までの距離が約1m〜約2mの場合、図の■の範囲が撮影されます。

カメラの上手な構え方

ファインダーを使用すると自然に脇が締まり、ブレにくくなります。

注意

・マクロ撮影時はファインダー撮影できません。
・撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

■ ファインダーランプ表示について

電源を入れたときやシャッターボタンを押したときに、点灯または点滅して状態をお知らせします。

表示	状態
緑点灯	AFロック中、液晶モニター OFF
緑点滅	AF、AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	**xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリーに記録中（撮影可能）
橙点灯	**xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリーに記録中（撮影不可）
橙点滅	フラッシュ充電中（フラッシュ発光しません）
赤点滅	・**xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリーについての警告 未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、**xD-ピクチャーカード**/内蔵メモリー異常 ・レンズ動作異常

メモ

液晶モニターにも警告表示が表示されます。
（→123〜126ページ）

次ページにつづく

ピントと明るさを固定して撮影する

上のような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れているため、半押ししても人物にピントは合いません。

このようなときに有効なのがAF/AEロック撮影です。

また、AF/AEロックはオートフォーカスの苦手な被写体（→35ページ）にも有効です。

AF/AEロック撮影のやり方

① 被写体がAFフレームに入るようカメラを少し動かします。

② 半押ししてピントを合わせます。

半押し

③ 半押しのまま、撮りたい構図にカメラを動かしてシャッターボタンを押し込みます。

全押し

メモ

- AF/AEロックの操作はシャッターを切る前なら何度でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。
- カメラが自動的にピントを合わせることを「AF」、カメラが自動的に明るさを決めることを「AE」といいます。

オートフォーカスの苦手な被写体

このカメラは正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件、被写体についてはピントが合いにくいことがあります。

鏡、車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他に、
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎のような実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（背景と同色の服を着ている人物など）
- 液晶モニターの中央付近に被写体の他に明暗差がはっきりしたものがあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合はAF/AEロックをお使いください（→34ページ）。

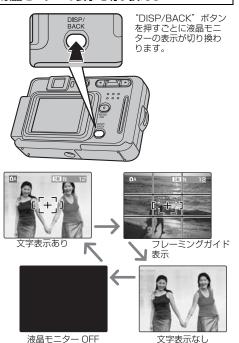
構図を工夫するために

液晶モニターの表示を切り換える

“DISP/BACK”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。

文字表示あり

フレーミングガイド表示

文字表示なし

液晶モニター OFF

> **注意**
>
> “🌷”マクロを設定しているときは、液晶モニター OFF を選択できません。

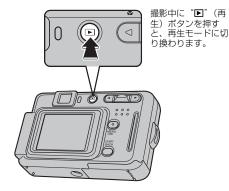
フレーミングガイド表示

被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせると、被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

撮影した画像を見る

思っていたとおりに撮影できているかどうか、再生して見てみましょう。
特に大切な撮影の時には試し撮りをして、確認してください。

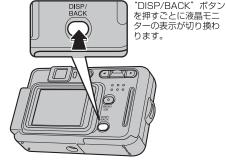
再生モードに切り換える

撮影中に“▶”（再生）ボタンを押すと、再生モードに切り換わります。

電源OFFのときに“▶”（再生）ボタンを約1秒間押すと、再生モードで電源が入ります。

メモ

“▶”（再生）ボタンを押したときは、最後に撮影した画像が表示されます。

液晶モニターの表示を切り換える

“DISP/BACK”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。

文字表示あり　文字表示なし

マルチ再生

次ページにつづく

1コマ再生する

見たい画像を選びます。
◀：前の画像が表示されます。
▶：次の画像が表示されます。

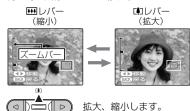
コマサーチ

1コマ再生中に◀または▶を約1秒間押し続けると、一覧表示画面に切り換わり、画像の選択ができます。
ボタンをはなすと1コマ再生に戻ります。

再生ズーム

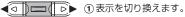
❶ 拡大/縮小する

1コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

拡大、縮小します。

“DISP/BACK”ボタンで再生ズームを解除します。

❷ 表示範囲を移動する

ナビゲーション画面
（現在の表示位置）

① 表示を切り換えます。

② 見える範囲を移動します。

“DISP/BACK”ボタンでズーム画面に戻ります。

■ ズーム倍率（FinePix A400）

ピクセル	最大ズーム倍率
4M（2304×1728ピクセル）	約3.6倍
3:2（2304×1536ピクセル）	約3.6倍
2M（1600×1200ピクセル）	約2.5倍
1M（1280×960ピクセル）	約2倍

■ ズーム倍率（FinePix A500）

ピクセル	最大ズーム倍率
5M（2592×1944ピクセル）	約4.1倍
3:2（2592×1728ピクセル）	約4.1倍
3M（2048×1536ピクセル）	約3.2倍
2M（1600×1200ピクセル）	約2.5倍

マルチ再生する

9コマ表示され、そこから見たい画像を選ぶことができます。

① 見たい画像を選びます。
▲か▼を数回押すと次のページが表示されます。

② “MENU/OK”ボタンを押すと、選んだ画像が大きく表示されます。

メモ　再生できる静止画について

本機で記録した静止画、または xD-ピクチャーカード 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。なお、本機以外のカメラで撮影した静止画はきれいに再生できない場合や、再生ズームができない場合があります。

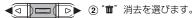
画像を消去する（▥消去）

▶再生モードにする
（→37ページ）

失敗写真などの不要な画像を削除できます。
xD-ピクチャーカード に空きを作りたいときや、整理したいときに使いましょう。

消去の方法を決める

①“MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

②“▥”消去を選びます。

③“1コマ”か“全コマ”を選びます。

④“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

1コマ消去する（1コマ）

①消去するコマ（ファイル）を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押すと、表示中のコマ（ファイル）が消去されます。

メモ

続けて消去するには上の操作を繰り返します。
消去を終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

注意

“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

すべてのコマを消去する（全コマ）

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）が消去されます。

メモ

全コマ消去中に“DISP/BACK”ボタンを押すと中止でき、いくつかのコマ（ファイル）が消去されずに残ります。

メモ

- **xD-ピクチャーカード** を使用中は、**xD-ピクチャーカード** 内の画像が消去され、使用していないときは、内蔵メモリーの画像が消去されます。
- “戻る”を選択すると、コマ(ファイル)を消去せずに1コマ再生に戻ります。
- プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（→63ページ）。
- “予約があります”が表示された場合、コマ（ファイル）を消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押してください。

注意

誤ってコマ（ファイル）を消去するともとに戻せません。消去したくないコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

使ってみよう

撮影機能を使いこなすー設定の手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを思いうかべながら、次のような流れで設定します。

❶撮影モードを選ぶ

まず、メニューから撮影モードの設定をしましょう。

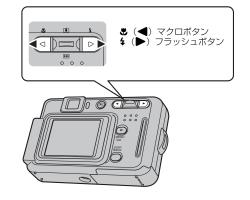
撮影モードによって使える機能が制限され、どのような写真にするかが変わります。

Aオート	最も簡単な操作で撮影できます（→44ページ）。
人物 風景 スポーツ 夜景	撮影シーンに適した撮影モードが設定できます（→44、45ページ）。
Mマニュアル	Aオートではできない、細かなメニューの設定ができます（→46ページ）。

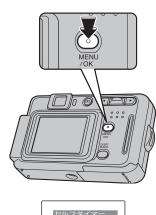
❷機能を設定する

ボタン操作やメニューで撮影機能を設定することで、写真の仕上がりイメージを変えられます。

■ ボタンで設定する

（マクロ）	近距離撮影で使用します（→47ページ）。
（フラッシュ）	暗い場所や逆光時の撮影に使用します（→48ページ）。

■ 撮影メニュー（“MENU/OK” ボタン）で設定する機能

ピクセル	記録画素数を変更できます（→52ページ）。
セルフタイマー	撮影者を含めた集合写真などで使用します（→54ページ）。
感度	感度を変更できます（→56ページ）。
露出補正	画像の明るさを変更できます（M のみ）（→57ページ）。
WB ホワイトバランス	撮影時の光源により、色合いが変わるのを適正な色にできます（M のみ）（→58ページ）。

もっと使いこなそう（撮影編）

撮影モードを設定する

撮影モードを切り換えることで、撮影目的に応じた設定を行うことができます。

① “MENU/OK” ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

② “📷” 撮影モードを選びます。

③ モードを選びます。

④ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

📷A オート

最も簡単な操作できれいな写真が撮れます。
一般的なスナップ撮影に適しています。
“露出補正”、“ホワイトバランス” の設定をカメラに任せます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、👁、⚡、🚫

人物

人物の撮影に適しています。

肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、👁、⚡、🚫、S⚡、SLOW

▲ 風景

昼間の風景撮影に適しています。

建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。

チェック！

- フラッシュは使用できません。

スポーツ

動いている被写体の撮影に適しています。

高速シャッターでの撮影が行われます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
AUTO、⚡、Ⓢ

夜景

夕景や夜景の撮影に適しています。

最長約2秒のスローシャッターでの撮影が行われます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
Ⓢ、S⚡、SLOW
- スローシャッターになるので、手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

次ページにつづく

M マニュアル

撮影機能を自由に設定することで、多彩な表現ができます。

- 露出補正（→57ページ）
- WBホワイトバランス（→58ページ）

が設定できます。

チェック！

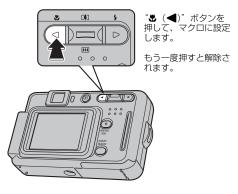
- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、、、、S、SLOW

近距離撮影をする（🌷マクロ）

使用可能撮影モード：
📷A、📷M（→44ページ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使用します。

“🌷（◀）”ボタンを押して、マクロに設定します。

もう一度押すと解除されます。

マクロ設定中は“🌷”が表示されます。

注意

・マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
・マクロで撮影すると、画像の四隅が暗くなることがあります。

チェック！

・マクロ撮影でピントが合う範囲
約10cm～約80cm
・マクロ撮影でのフラッシュ撮影可能距離
約30cm～約80cm

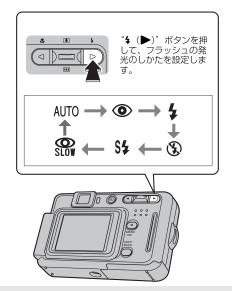
メモ

・マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
・マクロ撮影は次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

フラッシュ撮影する

使用可能撮影モード：
A、、、、M（→44ページ）

夜や暗い室内で撮影をするときはフラッシュを使うことが有効です。撮影の目的に合わせて6種類のフラッシュ設定ができます。

メモ

フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しにすると、液晶モニターに“”が表示されます。

AUTO オートフラッシュ（表示なし）

一般的な撮影で使用します。

カメラが暗いと判断したときに自動的に発光します。

赤目軽減フラッシュ

暗い場所で人物を撮影するのに適しています。

ひとみが赤く写る（赤目現象）のを軽減します。
カメラが暗いと判断したときに自動的に発光します。

メモ

人物を暗いところでフラッシュ撮影したとき、フラッシュの光が目の中で反射することにより、目が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。

⚡強制発光フラッシュ

逆光で被写体が暗くなっている場合などに適しています。

周囲の明るさに関係なくフラッシュが発光します。

⊘ フラッシュ発光禁止

フラッシュ撮影禁止の場所などで撮影するときに適しています。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

どのような場合でもフラッシュは発光しません。

S⚡ スローシンクロ、👁SLOW 赤目軽減+スローシンクロ

夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。必ず三脚をご使用ください。

“👁SLOW”では同時に赤目を軽減できます。
“☾”夜景で最長2秒のスローシャッターになります。

! 注意

明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

✔ チェック！

■ 撮影モード別のフラッシュ設定
撮影モードにより、使用できるフラッシュ設定が変わります。

	AUTO	👁	⚡	⊘	S⚡	👁SLOW
📷A	○	○	○	○	×	×
👤	○	○	○	○	○	○
▲	×	×	×	○	×	×
🏃	○	×	○	○	×	×
☾	×	×	×	○	○	○
📷M	○	○	○	○	○	○

■ フラッシュ撮影可能距離（“ISO”：AUTO時）
広角側：約60cm〜約3.1m
望遠側：約60cm〜約2m
これよりも遠くなるとフラッシュを使用しても暗くなってしまいます。

! 注意　フラッシュ使用時の注意

- フラッシュ充電中（ファインダーランプが橙点滅）にシャッターボタンを押すとフラッシュ発光せずに撮影されます（AUTO、👁のとき）。
- 電池残量が少ない場合、フラッシュ充電時間が長くなることがあります。
- フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。
- フラッシュは数回発光します（予備発光、本発光）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

撮影メニューを使う

画質調整などを設定でき、撮影の幅が広がります。

メニューの設定方法

① “MENU/OK” ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

② 変更する項目を選びます。

③ 設定を変更します。

④ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

撮影メニュー一覧

	メニュー	機能	設定	工場出荷時
最初の画面	撮影モード (→44ページ)	撮影目的に応じた設定ができます。	動画/マニュアル/オート/ 人物/風景/ スポーツ/夜景	A
	ピクセル (→52ページ)	すべてのモードで設定できます。 記録される画像の大きさを変更できます。 大きいほど画質が良く、小さいほど多くの枚数を撮影できます。	(FinePix A400) 4M F/4M N/3:2/2M/1M/03M	4M N
			(FinePix A500) 5M F/5M N/3:2/3M/2M/03M	5M N
	セルフタイマー (→54ページ)	すべてのモードで設定できます。 撮影者を含めた集合写真などで使用します。	OFF/（10秒）/（2秒）	OFF
	SET 各種設定 (→76ページ)	カメラの設定を変更できます。	SET-UP/LCD	―
次の画面	ISO感度 (→56ページ)	すべてのモードで設定できます。 光に対する感度を変更できます。 ISO感度の設定値が大きいほど高感度になり、暗い場面でも撮影できます。	AUTO/100/200/400	AUTO
	露出補正 (→57ページ)	“”撮影モードが“M”のときに設定できます。 画像の明るさを調整できます。	−2EV〜+2EV（約1/3EVステップ）	0
	WBホワイトバランス (→58ページ)	“”撮影モードが“M”のときに設定できます。 撮影時の光源によって色合いが変わるのを、適正な色にできます。	AUTO/晴れ/ 日陰/蛍光灯1/ 蛍光灯2/蛍光灯3/電球	AUTO

記録される画像の大きさを変える（ピクセル）

使用可能撮影モード：、、、、、（→44ページ）

記録される画像の大きさを変更できます。
画質重視か枚数重視か目的に応じて使い分けましょう。

※ FinePix A500の画面です

■ ピクセル設定と用途例（FinePix A400）

ピクセル	用途例
4M F（2304×1728） 4M N（2304×1728）	DSCW、2L、A5サイズ程度でプリントする場合。 画質を優先する場合は“4M F”を選んでください。
3:2（2304×1536）	
2M（1600×1200）	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
1M（1280×960）	DSC、Lサイズ程度でプリントする場合。
03M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

■ ピクセル設定と用途例（FinePix A500）

ピクセル	用途例
5M F（2592×1944） 5M N（2592×1944）	六切、A4サイズ程度でプリントする場合。 画質を優先する場合は“5M F”を選んでください。
3:2（2592×1728）	
3M（2048×1536）	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でプリントする場合。
2M（1600×1200）	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

メモ

- ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。
- ピクセルを変更すると撮影可能枚数（→25ページ）が変わります。設定の右側の数字が撮影可能枚数です。

■ プリントサイズ早見表

A4	210mm×297mm
六切	203mm×254mm
A5	148mm×210mm
2L	127mm×178mm
DSCW	127mm×169mm

A6	105mm×148mm
ハガキ	102mm×152mm
HV	89mm×158mm
L	89mm×127mm
DSC	89mm×119mm

写せる範囲とピクセルについて

通常

“3:2”は、他の記録画素数が画像比率4：3で記録されるのに対して、3：2の比率（フィルム・ポストカードと同じ比率）で撮影されます。

もっと使いこなそう（撮影編）

セルフタイマーを使って撮影する（セルフタイマー）

使用可能撮影モード：A、、、、、M（→44ページ）

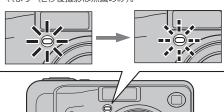
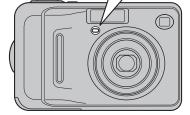
撮影者を含めた集合写真などを撮影するときに使用します。
セルフタイマーを設定すると、液晶モニターにアイコンが表示されます。

：10秒後撮影
：2秒後撮影

❶ 半押しで被写体にピントを合わせて、全押しします。

シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。
半押しからそのまま押し込むとセルフタイマーが開始されます。

❷ 設定した時間で撮影されます。

セルフタイマーランプが点灯から点滅に変わり、撮影されます（2秒後撮影は点滅のみ）。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン（秒読み）表示されます。

2秒後撮影について

三脚などでカメラを固定している場合でも、シャッター操作でカメラが動いてしまうことがあります。
そのような場合に2秒後撮影が有効です。

メモ

- 開始したセルフタイマー撮影は“DISP/BACK”ボタンで中止できます。
- セルフタイマーは次のとき自動的に解除されます。
  - 撮影が完了したとき
  - 撮影モードを切り換えたとき
  - 再生モードに切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- レンズの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピンボケになったり、適正な明るさにならないことがあります。

感度を変更する（ISO感度）

使用可能撮影モード：A、人物、風景、スポーツ、夜景、M（→44ページ）

光に対する感度を変更することができます。
ISO感度の設定値が大きいほど高感度になり、暗い場所での撮影が可能になります。

チェック！

■ ISO感度の設定値
AUTO、100、200、400

AUTOは被写体の明るさに応じて、感度が自動的に設定されます。

AUTO以外のときは設定値が表示されます。

メモ

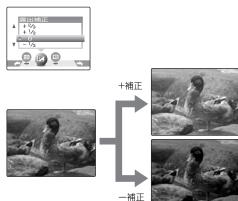
ISO感度は、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

注意

高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。状況に応じて感度設定を使い分けてください。

画像の明るさを変える（露出補正）

使用可能撮影モード：M（→44ページ）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）にならない場合に使用します。

チェック！

- 補正範囲：–2EV～+2EV
  （13段階：約1/3EVステップ）
- 用語解説「EV」（→136ページ）

露出補正の目安

- 逆光の人物撮影：
  +2/3EV～+1 2/3EV

- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：
  +1EV

- 画像の大部分を空が占める場合：
  +1EV
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：
  –2/3EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：
  –2/3EV

メモ

次のような状態では、露出補正は無効になります。
- AUTOまたは“👁”赤目軽減でフラッシュが発光したとき
- “⚡”強制発光で撮影シーンが暗いとき

メニューの設定方法（➝50ページ）

色合いを調節する（WBホワイトバランス）

使用可能撮影モード：M（➝44ページ）

太陽光や照明など撮影時の光源によって白色の色合いが変わるのを、見た目に近い白色に調節することができます。

AUTO　　：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
晴れ　　：晴天の屋外での撮影用です。
日陰　　：曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯1　：昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯2　：昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯3　：白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球　　：電球、白熱灯の下での撮影用です。

メモ

- ホワイトバランスがAUTO時は、人物の顔アップや特殊な光源下では、正しい色味にならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスに設定してください。
- フラッシュ発光時のホワイトバランスはフラッシュ用の設定になります。
  光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを“”発光禁止（➝49ページ）に設定してください。
- 撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。
- 用語解説「ホワイトバランス」（➝136ページ）。

プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

指定情報をもとに、DPOF対応のお店やプリンターでプリントできます。

※プリンター側のスロットに対応した **xD-ピクチャーカード** 用のアダプターが必要となる場合があります。

手軽に高画質プリントができるフジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）
詳細はhttp://fujicolorprint.jpをご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。1回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。

また、DPOF指定をしなくてもフジカラーデジカメプリントサービスの取扱店でプリントしたいコマや、その枚数、日付の有無などの指定ができます（お店のプリント受付機をご利用いただくと画像を見ながら簡単にできます）。詳しくはお店にご確認ください。

※ 内蔵メモリーの画像にもプリント予約（DPOF）できます。ただし、PictBridge機能（→85ページ）を使用して、カメラとプリンターを直接つないでプリントするときにのみ利用できます。

※ 日付プリントをする場合には、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。

※「DPC-M1GB」など、「M」が付いている **xD-ピクチャーカード** （Type M）からお店プリントする場合は、Type M対応のプリント受付機をご利用ください。詳しくはお店にご確認ください。

プリントする画像を指定する― プリント予約

▶再生モードにする
（→37ページ）

DPOF対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像や枚数、日付の有無を指定することができます。

① “MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

② “”プリント予約を選びます。

③ “日付あり設定”、“日付なし設定”、“全コマ解除”から選びます。

④ “MENU/OK”ボタンを押して、設定画面を表示します。

日付あり設定、日付なし設定

プリント予約を設定します。
“日付あり設定”のときは“”が表示され、日付を印字できます。

① プリント予約するコマ（ファイル）を選びます。

② プリント枚数を設定します。
- 最大99枚まで設定できます。
- プリントしないコマは0枚に設定してください。

続けて設定する場合は、①、②の操作を繰り返してください。

③ 設定が完了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押してください。
“DISP/BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

メモ　プリント予約を解除するには

① “MENU/OK” ボタンを押して、再生メニューを表示します。
② メニューから “🖶” プリント予約を選びます。
③ “日付あり設定” か “日付なし設定” を選び、予約設定画面を表示します。
④ ◀▶でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選択します。
⑤ プリント枚数を0枚に設定します。

続けて解除するには④、⑤の操作を繰り返します。
設定が終了したら必ず “MENU/OK” ボタンを押してください。
・全コマ解除（→62ページ）

メモ

・他の機種でプリント予約してあるとき

他の機種でプリント予約されたコマ（ファイル）がある場合は “🖶予約再設定OK？” と表示されます。“MENU/OK” ボタンを押すと、既にプリント予約された設定はすべて消去されます。そのため、新たにプリント予約をやり直す必要があります。
・同一 **xD-ピクチャーカード** 内で最大999コマの画像にプリント予約できます。
・動画はプリント予約できません。

注意

・設定中に “DISP/BACK” ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。既にプリント予約されていたときは修正のみキャンセルされます。
・プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります。
・本機以外で撮影した画像はプリント予約できない場合があります。

次ページにつづく

全コマ解除

プリント予約をすべて解除できます。

再生メニューで“全コマ解除”を選び（→60ページ）、設定画面を表示します。

“MENU/OK”ボタンを押すと、プリント予約がすべて解除されます。

メモ

プリント予約が設定してあるコマには、再生時に“”が表示され、確認できます。

画像を保護する－O┯プロテクト

▶再生モードにする
（→37ページ）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

①“MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

②“O┯”プロテクトを選びます。

③“設定/解除”、“全コマ設定”、“全コマ解除”から選びます。

④“MENU/OK”ボタンを押して、設定画面を表示します。

設定/解除

選んだコマ（ファイル）をプロテクトしたり、プロテクトを解除したりします。

プロテクトされていない場合

プロテクトされている場合（“O┯”表示）

①設定/解除するコマ（ファイル）を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押すと設定/解除されます。
プロテクトされていない場合：プロテクト設定
プロテクトされている場合：解除

続けて設定するには①、②の操作を繰り返します。
終了する場合は“DISP/BACK”ボタンを押してください。

もっと使いこなそう（再生編）

次ページにつづく

全コマ設定

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

全コマ解除

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

メモ　全コマ設定、全コマ解除を中止する

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は“DISP/BACK”ボタンを押してください。

注意

フォーマット（→81ページ）をすると、プロテクトしてあるコマ（ファイル）も消去されてしまいます。

連続して再生する－オートプレイ

再生モードにする
（→37ページ）

撮影した画像を順番に再生します。画像の切り換えかたなどを設定できます。

① “MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

② “ ”オートプレイを選びます。

③ 自動再生の間隔と画像の切り換えかたを選びます。

④ “MENU/OK”ボタンを押すと、設定した方法で自動再生が始まります。

メモ

- 途中でやめる場合は▲または“MENU/OK”ボタンを押してください。
- ◀▶でコマ送りできます。
- オートプレイ中は自動電源OFF（→81ページ）しません。
- 動画は自動的に再生が始まり、再生が終わると自動的に次のコマに進みます。
- “DISP/BACK”ボタンを1回押すと、液晶モニターにコマNO.とガイダンスが表示されます。

画像をコピーする－COPY画像コピー

▶再生モードにする
(→37ページ)

本機の内蔵メモリーに保存された画像を **xD-ピクチャーカード** へコピーできます。
また **xD-ピクチャーカード** に保存された画像をカメラの内蔵メモリーへコピーすることもできます。

コピーの方法を決める

①"MENU/OK" ボタンを押して、再生メニューを表示します。

②"COPY" 画像コピーを選びます。

③"MENU/OK" ボタンを押して、設定の変更画面へ移動します。

④"IN➔▭" カメラ→カードか"▭➔IN" カード→カメラを選びます。

⑤"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

1コマコピーする（1コマ）

①“1コマ”を選びます。

MENU /OK

②“MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

③コピーするコマ（ファイル）を選びます。

MENU /OK

④“MENU/OK”ボタンを押すと、表示中のコマ（ファイル）をコピーします。

 メモ

続けてコピーするには③、④の操作を繰り返します。
コピーを終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

すべてのコマをコピーする（全コマ）

①“全コマ”を選びます。

MENU /OK

②“MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

MENU /OK

③“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）をコピーします。

注意

- “空き容量がありません”、“IN空き容量がありません”と表示された場合、途中までしかコピーされません。
- プリント予約していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

画像を切り抜く－⌗トリミング

▶再生モードにする
（→37ページ）

撮影した画像の必要な部分を切り抜くことができます。

❶メニューを設定する

①トリミングするコマ（ファイル）を選びます。

MENU/OK

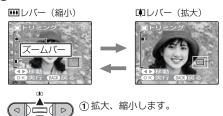
②“MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

③“⌗”トリミングを選びます。

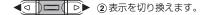
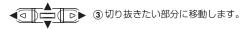
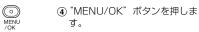
MENU/OK

④“MENU/OK”ボタンを押して、設定画面を表示します。

❷切り抜く部分を選ぶ

①拡大、縮小します。

“DISP/BACK”ボタンで1コマ再生に戻ります。

②表示を切り換えます。

③切り抜きたい部分に移動します。

“DISP/BACK”ボタンでズーム画面に戻ります。

④“MENU/OK”ボタンを押します。

❸ 記録する

MENU
/OK

トリミング後の記録画素数を確認して“MENU/OK”ボタンを押します。
トリミングした画像は別ファイルで最後のコマに追加されます。

メモ

- 手順❷でズーム時に拡大したサイズによって、記録画素数が変わります。最小の0.3Mになる場合は“OK 実行”の文字が黄色になります。

- 記録画素数と用途について（FinePix A400）

2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でのプリント
1M	DSC、Lサイズ程度でのプリント
03M	電子メールへの画像添付やホームページでの使用

- 記録画素数と用途について（FinePix A500）

3M	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でのプリント
2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でのプリント
03M	電子メールへの画像添付やホームページでの使用

- ピクセルの設定が“3:2”で記録された画像は、通常のサイズ（4：3）でトリミングされます。
- プリントサイズについては53ページをご参照ください。

注意

本機以外のカメラで撮影した静止画はトリミングできない場合があります。

動画を撮影する

動画を撮影できます。

❶ 動画モードに設定する

① “MENU/OK” ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

② “📷” 撮影モードを選びます。

③ “動画” を選びます。

④ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

液晶モニターに撮影可能時間が表示されます。

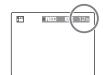
■ ズームについて

撮影を開始する前にズーム操作を行ってください。
撮影中はズームできません。

拡大、縮小します。

チェック！

- 光学ズーム焦点距離
  約38mm〜約114mm相当（35mmフィルム換算）
  最大ズーム倍率　3倍
- 撮影可能距離
  約60cm〜無限遠（∞）

❷ 動画を撮影する

全押し

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
撮影中は液晶モニターに“●REC”と、残り時間のカウントダウン（秒読み）が表示されます。

半押し

撮影中にシャッターボタンを半押しするか、残り時間がなくなると撮影を終了します。

メモ

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

チェック！　撮影できる動画について

- 撮影形式：
  Motion JPEG形式（→136ページ）
  音声なし
- 動画サイズ：
  320（320×240ピクセル）
  160（160×120ピクセル）
- フレームレート（→136ページ）：
  10フレーム/秒（固定）

メモ

- 撮影前の液晶モニター表示と動画記録中の液晶モニター表示は明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを全押ししたときに、ピントは固定されますが、露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。
- 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーへ記録されます。

注意

- 動画は **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーに記録しながら撮影するため、突然電源が切れる（電池切れ、ACパワーアダプターの接続が外れる）と正常に保存処理できません。
- 本機で撮影した動画ファイルは、本機以外では再生できない場合があります。

次ページにつづく

動画サイズを変更する

① “MENU/OK” ボタンを押して、動画メニューを表示します。

② “” ピクセルを選びます。

③ 設定を変更します。

④ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

■ 動画サイズの設定

320（320×240ピクセル）：画質重視
160（160×120ピクセル）：記録時間重視

■ xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリー標準撮影時間

右の表は内蔵メモリー、新しい **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットした状態の標準撮影時間です。
1回で撮影できる時間は、最長60秒(320設定時)/240秒(160設定時)です。

	ピクセル	
	320（10フレーム/秒）	160（10フレーム/秒）
内蔵メモリー（約12MB）	1分11秒	3分40秒
16MB	1分34秒	4分48秒
32MB	3分9秒	9分42秒
64MB	6分21秒	19分29秒
128MB	12分44秒	39分3秒
256MB	25分30秒	78分11秒
512MB	51分0秒	156分20秒
1GB	102分8秒	313分0秒

メモ

- ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。
- **xD-ピクチャーカード** の空き容量によっては、1回の撮影時間が短くなることがあります。

注意

「DPC-M1GB」など、「M」が付いている **xD-ピクチャーカード** を使って撮影したとき、画像ファイルの記録と消去を繰り返すと動画記録時間がまれに短くなることがあります。
このような場合には全コマ消去またはフォーマットしてからお使いください。そのとき、消去したくない重要なコマ（ファイル）はパソコンなどにコピーしてください。

▶動画を再生する

▶再生モードにする
（→37ページ）

①動画ファイルを選びます。
（“🎥”が表示されます。）

②再生が開始されます。

液晶モニターに再生時間と進行状況を示すバーが表示されます。

■ 動画再生操作方法

	操作	説明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に◀▶を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻戻し	◀ ▶	再生中に操作すると早送り/巻戻しします。
コマ送り	◀ ▶	一時停止中に◀または▶を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

次ページにつづく

▶再生モードにする（→37ページ）

メモ

高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。

注意

- 本機以外で撮影したファイルは再生できない場合があります。
- パソコンで再生する場合、xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリー内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

液晶モニターの明るさを調節する

①“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

②“SET”各種設定を選びます。

③“☼LCD”を選びます。

④“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

⑤液晶モニターの明るさを調節します。

⑥“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

カメラの設定を変える－SET SET-UP

SET-UPメニューの操作

❶SET-UPメニューを表示する

① “MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

② “SET”各種設定を選びます。

③ “SET-UP”を選びます。

④ “MENU/OK”ボタンを押して、SET-UP画面を表示します。

❷設定を変更する

① 見出し番号1～4を切り換えます。

② 変更する項目を選びます。

③ 設定を変更します。
“フォーマット”“日時設定”“世界時計”“USB設定”“充電池放電”“リセット”は“▶”を押すと設定画面に移ります。

④ “MENU/OK”ボタンを押して決定します。

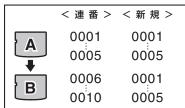
SET-UPメニュー一覧

	項目	設定（表示）	工場出荷時	内容	ページ
1ページ	撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。撮影画像と実際の色味が異なる場合がありますので、再生してご確認ください。	—
	ビープ	LOW/HIGH/OFF	LOW	ボタンなどを操作したときの音量を設定できます。	—
	コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.の付け方を設定します。	79
	LCD	ON/OFF	ON	撮影モードで電源を入れたときに、自動的に液晶モニターをONにするかOFFにするか設定できます。	—
2ページ	デジタルズーム	ON/OFF	OFF	ズームする際にデジタルズームを併用するか設定できます。	80
	自動電源OFF	2分/5分/OFF	2分	何も操作していないときに、自動的に電源が切れる時間を設定できます。	81
	モニター節電	ON/OFF	ON	何も操作していないときに、自動的に液晶モニターの明るさを暗くします。	81
	フォーマット	実行	—	**xD-ピクチャーカード**、または内蔵メモリーを初期化します。すべてのファイルが消去されます。	81

次ページにつづく

	項目	設定（表示）	工場出荷時	内容	ページ
3ページ	日時設定	設定	―	日付、時刻を修正できます。	29
	世界時計	設定	―	時差の設定ができます。	82
	言語/LANG.	日本語/ENGLISH	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。	―
	USB設定	設定	―	⇋　カードリーダー **xD-ピクチャーカード**、または内蔵メモリーから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます。	104
				⇋　ピクトブリッジ PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わずにカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。	85
4ページ	ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを選択します。 日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。	―
	充電池放電	実行	―	ニッケル水素電池を放電します。	120
	リセット	実行	―	日時設定、世界時計、言語/LANG.、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。▶を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには“MENU/OK”ボタンを押します。	―

コマNO.

コマNO.の付け方を設定します。

＊ **A**、**B**ともにフォーマットされた **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーを使用した場合

連番： 最後に使用した **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーの最終ファイルNO.から続けて記録します。

新規： **xD-ピクチャーカード** ごとにファイルNO.は0001から記録が開始されます。

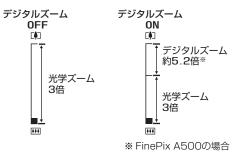
チェック！

再生時に液晶モニターの右上の7ケタの数字のうち下4ケタがファイルNO.で上3ケタはフォルダNO.です。

メモ

- “連番”はパソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。
- “📷リセット”（→78ページ）を実行した場合、コマNO.の設定は“連番”になりますが、コマNO.自体は“0001”に戻りません。
- “連番”で **xD-ピクチャーカード** を交換したとき、 最後に記憶したファイルNO.よりも大きいファイルNO.の画像があった場合、大きいファイルNO.に続けられます。
- ファイルNO.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダNO.が1つ繰り上がります。最大で999-9999までカウントされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。

デジタルズーム

光学ズームの最大倍率から、さらに拡大して撮影できます。

※ FinePix A500の場合

チェック！

- **光学ズーム焦点距離***
  約38mm～約114mm相当
- **デジタルズーム焦点距離***
  ■FinePix A400
  約114mm～約410mm相当
  最大ズーム倍率　約3.6倍
  ■FinePix A500
  約114mm～約593mm相当
  最大ズーム倍率　約5.2倍

*35mmフィルム換算

メモ

光学ズームとデジタルズームを切り換えるとき、ズーム表示位置（■）が停止します。もう一度同じ方向に押すと■が動き、引き続きズームされます。

注意

デジタルズームを使用すると被写体をより拡大して撮影できますが、画質が劣化します。撮影目的に応じて使用してください。

自動電源OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2分間または5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。電池を長持ちさせたいときに使用します。

注意

オートプレイ（→65ページ）、充電池放電（→120ページ）、USB接続（→86、105ページ）時は自動電源OFFしません。

メモ　再び電源を入れるには

「電源を入れる（→26ページ）」をご参照ください。

モニター節電

10秒間操作しないと、自動的に液晶モニターが暗くなります。
消費電力を抑え、電池を長持ちさせられます。

メモ

ボタン操作をすると、通常の明るさに戻ります。

注意

再生モード、動画モード時はモニター節電は無効になります。

フォーマット

xD-ピクチャーカード、内蔵メモリーをカメラ用に初期化（フォーマット）します。

・フォーマットする場所
"IN フォーマット"
：内蔵メモリー
"フォーマット"
：xD-ピクチャーカード

①"実行"を選びます。

②"MENU/OK"ボタンを押すと、**xD-ピクチャーカード**、または内蔵メモリーが初期化されます。

チェック！

内蔵メモリーのフォーマット時間は、約15秒です。

注意

フォーマット時に、プロテクトされているものを含むすべてのコマ（ファイル）が消去されます。
消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

世界時計

旅行先で時差がある場合に、時差の設定ができます。撮影時間が設定した時間で記録されます。

❶ 時差設定を有効にする。

“ホーム”と“現地”を切り換えます。

時差を設定するときは“現地”にします。

ホーム：お住まいの地域

現地：旅行先

❷ 時差設定に移る。

① “時差設定”を選びます。

② 時差設定画面に移ります。

❸ 時差を設定する。

①変更する項目（+か一、時、分）を選びます。

②設定を変更します。

③設定が終了したら、“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

チェック！

・**設定可能時間**
–23:45〜+23:45（15分単位）

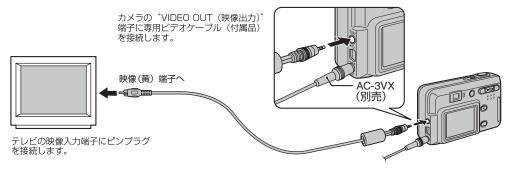
メモ

世界時計を設定すると、撮影モードにしたとき液晶モニターに、“✈”と日付が3秒間表示されます。
そのとき日付表示は黄色に変わります。

チェック！

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず“⌂ホーム”に設定し直してください。

テレビに接続する

テレビに接続すると大画面で写真を見ることができます。「オートプレイ（→65ページ）」を使用すると、パーティーなどで楽しめるでしょう。

注意

- 専用ビデオケーブル、ACパワーアダプターは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ACパワーアダプターについてのご注意は、119ページをご参照ください。

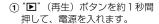
メモ

- 専用ビデオケーブルをテレビに接続すると液晶モニターが消えます。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質は低下します。
- テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。
- 長時間、テレビに接続する場合はACパワーアダプター AC-3VX（別売）のご使用をおすすめします。

プリンターに接続してプリントする― PictBridge機能

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

プリンターに接続する前に

① “▶”（再生）ボタンを約１秒間押して、電源を入れます。

② “MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

③ “SET”各種設定を選びます。

④ “SET-UP”を選びます。

⑤ “MENU/OK”ボタンを押して、SET-UP画面を表示します。

⑥ “見出し番号3”に切り換えます。

⑦ “USB設定”を選びます。

⑧ 設定画面を表示します。

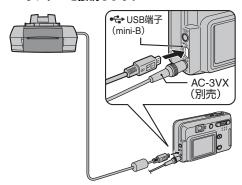
次ページにつづく

⑨“⇋ピクトブリッジ”を選びます。

⑩“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

⑪電源を切ります。

プリンターに接続する

❶付属のUSBケーブル（mini-B）でカメラとプリンターを接続します。

メモ

長時間、プリンターに接続する場合はACパワーアダプター AC-3VX（別売）のご使用をおすすめします。

❷接続したら、プリンターの電源を入れ、そのあと“▶”（再生）ボタンを約1秒間押してカメラの電源を入れます。

電源を入れると接続確認の画面が表示されます。

❸しばらくすると次の画面が表示されます。

コマを指定してプリントする
→87ページへ
プリント予約(DPOF)した画像をプリントする
→88ページへ

メモ

- 手順❸の画面が表示されない場合は、“USB設定”が“⇋ピクトブリッジ”になっているか確認してください。
- プリンターによっては使えない機能があります。

プリント予約（DPOF）を使わず、コマを指定してプリントする（日付ありプリント、日付なしプリント）

①プリントするコマ（ファイル）を選びます。

②プリント枚数を設定します。
最大99枚まで設定できます。

続けて設定するには①、②の操作を繰り返します。

③“MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

④もう一度“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、指定された枚数がプリントされます。

メモ

合計(トータル)枚数が0枚のときに“MENU/OK”ボタンを押すと、表示されている画面が1枚プリントされます。

メモ　日付を入れてプリントする

①“DISP/BACK”ボタンを押して設定画面を表示します。

②“日付ありプリント”を選びます。

③“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

注意

日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、“日付ありプリント”が選べません。

次ページにつづく

プリント予約(DPOF)設定でプリントする(予約プリント)

① “DISP/BACK”ボタンを押して、メニューを表示します。

② “予約プリント”を選びます。

③ “MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

MENU
/OK

④ もう一度“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、プリント予約したコマが連続してプリントされます。

チェック！

“予約プリント”をする場合は、あらかじめ60ページを参照してプリント予約をしてください。

注意

プリント予約（→60ページ）で“日付あり設定”にしても、日付プリントに対応していないプリンターの場合、日付が印字されません。

メモ

プリント中に“DISP/BACK”ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。
動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリンターと接続を切るには

① カメラの液晶モニターに“プリント中”と表示されていないことを確認します。
② カメラの電源を切り、USBケーブル（mini-B）を取り外します。

メモ

内蔵メモリーの画像にもプリント予約（DPOF）できます。

注意

- PictBridge機能は、カメラで撮影した画像以外ではプリントできない場合があります。
- USB設定が“⇋ピクトブリッジ”のまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、130ページをご参照ください。
- 本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
- 内蔵メモリー、または本機でフォーマットした **xD-ピクチャーカード** をご使用ください。
- 動画はプリントできません。
- 本機以外で撮影した画像はプリントできない場合があります。

パソコンと接続する

パソコンと接続することで、画像データを保存したり、専用ソフト“FinePixViewer”を使って閲覧や管理など様々なことができます。

パソコンと接続する前に

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続前に、必ず付属のCD-ROMを使ってすべてのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。
インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

CD-ROM
「Software for FinePix」

注意

- ACパワーアダプター AC-3VX（別売）を使った接続をおすすめします。通信中に電源が切れると **xD-ピクチャーカード** または内蔵メモリー内のファイルを破壊する可能性があります。
- 通信中はUSBケーブル（mini-B）を取り外さないでください。通信中に接続が切れると、**xD-ピクチャーカード** または内蔵メモリー内のファイルを破壊する可能性があります。
- Mac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- USBケーブル（mini-B）は向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは必ず所定の手順で行ってください（→109ページ）。
- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが橙に点滅します。
- USB接続時は自動電源OFFしません。
- **xD-ピクチャーカード** の交換は、必ず109ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

FinePixViewerでできること

FinePixViewerは、デジタルカメラで記録した静止画/動画/音声ファイルをパソコンに保存し、整理、加工、印刷などを行うためのソフトウェアです。ここでは簡単にその機能をご紹介します。

■ カメラのデータをパソコンに保存する−カメラをパソコンに接続すると自動的にFinePixViewerが起動して、簡単な操作でパソコンにデータを保存できます。接続方法は104ページをご覧ください。

■ ファイルを閲覧・整理する−静止画/動画/音声などの各ファイルを、サムネイル表示で分かりやすく確認できます。

■ 画像ファイルを加工する−画像の自動画質調整、回転など、画像処理機能を利用できます。

■ スライドショーを行う− BGMを付けて撮影日などを字幕のように表示しながらスライドショーを再生できます。

■ 画像を印刷する−印刷する画像を選択し、レイアウトのプレビューを見ながら、画像の印刷が簡単に行えます。

■ Eメールに画像を添付する−メール送信に適した画像サイズに変換してEメールへ画像を添付できます。

■ 他にも充実した機能がいろいろ−インターネット接続環境では、ネットプリント注文を行ったり、サポート情報の取得など、たいへん便利な画像ネットサービスPictureTheFutureを利用できます（一部有料）。

チェック

■ CDｰROMのバージョンについて

FUJIFILM
Software for FinePix
KA Version 1.0a for Windows® and Macintosh®

CD-ROMのバージョンはCD-ROMの盤面に下記のように書かれています。
「○○ Version □.□ x」　例) KA Version 1.0a

○○ ：大文字アルファベット二文字
□.□：数字
x：小文字アルファベット

注意　インターネットを利用する際のご注意

■ 料金について：インターネットの利用に必要な料金には次のようなものがあります。

通話料金：回線を使う代金として、電話会社に支払います。
接続料金：サーバーへの接続・データの保管（E-mail、ホームページ）の代金として、プロバイダに支払います。

＊ 通話や接続する時間に応じて料金が変わる場合は、無駄な接続をなくすためにパソコンの自動切断の機能をご利用になることをおすすめします。
＊ 弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。
＊ オンラインショッピング／各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金・サービス料金が請求されます。

■ ウイルスについて

パソコンがウイルスに感染すると、大切なデータを破壊したり、アドレス帳に登録されている人へ勝手にメールを送りつけたりします。メールの添付ファイルやダウンロードしたファイルで中身のよくわからないものは、ダブルクリックしないでください。

Windowsにインストールする

この章では、Windowsパソコンでのインストール方法・設定を説明しています。

❶ インストール前にお確かめください

■ 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

OS*[1]	Windows 2000 Professional 日本語版*[2] Windows XP Home Edition 日本語版*[2] Windows XP Professional 日本語版*[2]
CPU*[3]	Pentium 200MHz以上を推奨 （Windows XPの場合は、PentiumⅢ 800MHz以上を推奨）
メモリ	64MB以上（Windows XPの場合は128MB以上）
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 .... 200MB以上 動作に必要な容量 800MB以上
ディスプレイ	1024×768ドット以上、16ビットカラー以上
インターネット接続*[4]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度　56kbps以上推奨
外部接続端子	本体標準のUSBポート

*[1] 上記のOSがプリインストールされたモデル。
*[2] インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント（例えば、“Administrator”）でログインしてください。
*[3] パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。動画をパソコン上で再生する場合のご注意は「トラブルシューティング（Windows編）」（→111ページ）をご覧ください。
*[4] 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

次ページにつづく

■ 推奨環境

OS	Windows XP
CPU	Pentium4 2GHz以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク空き容量	2GB以上
ディスプレイ	1024×768以上　フルカラー
インターネット接続	通信速度　ブロードバンド（ADSL、FTTH、CATVなど）

注意

- パソコンとカメラは、USBケーブル（mini-B）で直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- Windows 95、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE、Windows Meでは使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- FinePixViewer Sを再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザー ID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。登録済みのユーザー ID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

❷ CD-ROMをパソコンにセットする

① パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。既に電源を入れて作業をしていた場合は、再起動してください。

注意

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラを接続しないでください。

② タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了させてください。

<タスクバー>

スタート　無題 - メモ帳

終了すべきアプリケーション(表示は実行されているアプリケーションによって異なります)

i. タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。
ii. 開いたメニューの「閉じる」をクリックします。

詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご参照ください。

③ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストーラーが自動的に起動します。

メモ　インストーラーを手動で起動するには

①「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。
Windows XPをお使いの場合は、「スタート」メニュー→「マイコンピュータ」をクリックします。

②「マイコンピュータ」ウィンドウの「FINEPIX」のCD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択します。

③ CD-ROMの中の「SETUP」または「SETUP.exe」をダブルクリックします。

次ページにつづく

❸ FinePixViewer Sをインストールする

① セットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewer Sのインストール」をクリックしてください。

メモ

インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

② インストールの続行を確認する画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。

③「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、
同意される場合　→「同意します」ボタン
同意しない場合　→「同意しません」ボタン
をクリックしてください。
「同意しません」ボタンをクリックすると、インストールされません。

④ ソフトウェアのバージョンチェックが行われます。下の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールしてください。

⑤ FinePixViewer Sをインストールします。

i. 下の画面が表示される場合があります。設定を引き継ぐときは「はい」ボタンをクリックしてください。

ii. FinePixViewer Sのインストールが始まり、注意・警告画面が表示されます。確認したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

iii. インストール先のフォルダを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

ソフトウェアを使う

次ページにつづく

⑥ 画面の指示に従って、DirectXをインストールします。

> **❗ 注意**
>
> Windows XPをご使用の場合、または既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。

⑦ 画面の指示に従って、「再起動」ボタンをクリックしてください。

⑧ 再起動後、「FinePixViewer Sのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

⑨「今すぐ使う」ボタンをクリックしてFinePixViewer Sを起動します。

⑩ インターネットに接続できる環境でお使いの方は「FinePixユーザー登録はこちらから」ボタンをクリックして登録することをおすすめします。

> これでインストールはすべて終了しました。
>
> 続いて、104ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。
> CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

Mac OS Xにインストールする

この章では、Mac OS Xでのインストール方法・設定を説明しています。

❶ インストール前にお確かめください

■ 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	Power Mac G3*[1]、PowerBook G3*[1]、 Power Mac G4、iMac、iBook、 Power Mac G4 Cube、PowerBook G4、 Power Mac G5
OS	Mac OS X*[2]（バージョン10.2.8～10.3.9対応*[3]　2005年8月現在*[4]）
メモリ	192MB以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 …… 200MB以上 動作に必要な容量 …… 400MB以上
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32,000色以上
インターネット接続*[5]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨

*[1] USBポートが標準装備されている機種
*[2] インストールするときには、コンピュータの管理者アカウントでログインしてください。
*[3] QuickTime Player 7には対応していません。
*[4] 対応OSについては下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/ または http://finepix.com/
*[5] 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

次ページにつづく

注意

- Macintoshとカメラは、USBケーブル（mini-B）で直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。

❷ FinePixViewerをインストールする

① Macintoshの電源を入れて、Mac OS Xを起動します。他のアプリケーションは起動しないでください。

② 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」アイコンが表示されます。「FinePix」アイコンをダブルクリックすると、「FinePix」ボリュームが開きます。

③「Installer for MacOSX」をダブルクリックして起動します。

④ インストーラーのセットアップ画面が表示されます。「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

📎 **メモ**

インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

⑤「認証」画面が表示されます。管理者のアカウントの名前とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

注意

管理者のアカウントはMac OS Xをインストールしたアカウント、もしくはシステム環境設定のアカウントを開いたとき、タイプが管理者となっているアカウントです。

⑥「ライセンス」画面が表示されます。
内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意」ボタンをクリックしてください。
「同意しない」ボタンをクリックするとインストールはされません。

次ページにつづく

⑦「お読みください」画面が表示されます。
「続ける」ボタンをクリックします。

⑧「FinePixInstallOSX」画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックすると、
FinePixViewerがインストールされます。

⑨ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

これでインストールはすべて終了しました。

続いて、104ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。
CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

注意

WebブラウザにSafariをご使用の場合、CD-ROMを取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock内にあるSafariのアイコンをクリックして起動し、「Safari」－「Safariを終了」メニューを選択して終了させてください。

メモ

カメラを接続したとき、FinePixViewerを自動起動させるには

①「アプリケーション」フォルダから「イメージキャプチャ (Image Capture)」を起動します。
②「イメージキャプチャ」メニューより「環境設定」を選択します。

③「カメラを接続したときに起動する項目」から「その他」を選択します。
④「アプリケーション」フォルダの「FinePixViewer」フォルダから「FPVBridge」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。
⑤イメージキャプチャを終了します。

カメラとパソコンを接続する

❶ 初回接続時に行ってください（カードリーダー接続する）

実際にカメラをカードリーダー接続し、正常に動作することを確認します。

チェック！

Windowsパソコンをお使いの方は、WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンの使用説明書を見るか、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

メモ

ACパワーアダプター AC-3VX（別売）のご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ または、http://finepix.com/ をご参照ください。

① 静止画撮影済みの **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします(➜23ページ)。

注意

- カメラ内の **xD-ピクチャーカード** をパソコンでフォーマットしないでください。
  撮影できなくなることがあります。
- **xD-ピクチャーカード** は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

② “▶”（再生）ボタンを約1秒間押して電源を入れます。

③ “MENU/OK”ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

④ “SET”各種設定を選びます。

⑤ “SET-UP”を選びます。

⑥ SET-UP画面を表示します。

⑦“見出し番号3”を選びます。

⑧“USB設定”を選びます。

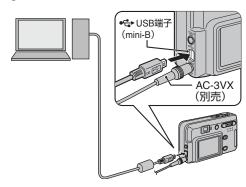
⑨設定画面を表示します。

⑩“⇆カードリーダー”を選びます。

⑪電源を切ります。

⑫USBケーブル（mini-B）で接続します。

⑬“▶”（再生）ボタンを約1秒間押して電源を入れます。

メモ

- Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- 長時間、パソコンに接続する場合はACパワーアダプター AC-3VX（別売）のご使用をおすすめします。

次ページにつづく

注意　「接続先確認中」と表示されたときは

「接続先確認中」と表示されたあと、しばらくして「接続できませんでした」と表示されたときは、“USB設定”が“⇋カードリーダー”に設定されていません。
いったんUSBケーブル(mini-B)を取り外し、手順③へ戻り“USB設定”を“⇋カードリーダー”に設定してから接続してください。

■ 以降の手順は、パソコンのOSによって違います。

Windows 2000 Professional

FinePixViewer Sが自動的に起動し、「写真取り込み」画面が表示されます。
ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「メニューに戻る」ボタンをクリックします。

109ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る)」へ進んでください。

Windows XP

①「新しいハードウェアが見つかりました」というヒントが、画面右下に表示されます。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
次回以降の接続では、この手順は必要ありません。

②FinePixViewer Sが自動的に起動し、「写真取り込み」画面が表示されます。
ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「メニューに戻る」ボタンをクリックします。

 メモ

FinePixViewer SとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewer Sが自動起動します。

109ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る）」へ進んでください。

Mac OS X

FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ダイアログが表示されます。
ここで画像を保存する場合は「OK」ボタンをクリックします。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

109ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る)」へ進んでください。

注意

FinePixViewerが自動起動せず、なおかつリムーバブルディスクアイコンが現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、「トラブルシューティング」（→112ページ）をご参照ください。

注意

- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。
  正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。
  xD-ピクチャーカード、内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
  USBケーブル(mini-B)を抜く／カメラ（電源ボタン、操作ボタン、レンズカバーなど）に触れる。

❷ カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る）

Windows

① 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「カメラを取り外す」ボタンをクリックしてください。

② 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。タスクバーから取り外しアイコンが削除されます。

③ カメラの電源を切ります。

Mac OS X

① 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

画像の取込みが完了しました。
リムーバブルアイコンをデスクトップから外しますか？

② 「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。デスクトップからリムーバブルアイコンが削除されます。

③ カメラの電源を切ります。

注意

- 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「カメラとパソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブル (mini-B)を抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

ソフトウェアを削除する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

Windows

① カメラが接続中でないことを確認します。

② すべてのアプリケーションを終了します。

③「マイコンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」）をダブルクリックします。

④「アプリケーションの追加と削除」のプロパティ（Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」）が表示されますので、削除したいソフトウェア（FinePixViewer S）を選択して、「変更と削除」ボタンをクリックします。

⑤ 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

⑥ 自動的にアンインストール作業が開始されます。アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Mac OS X

FinePixViewerを終了したあと、インストールしたFinePixViewerのフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「Finder」メニューの「ゴミ箱を空にする…」を選択してください。

トラブルシューティング（Windows編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（→93ページ）。動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。「トラブルシューティング」をご覧になるには、下記の手順をご参照ください。

Windows

■「ヘルプ」ボタンをクリックして、「FinePixViewer Sの使い方」を選択します。

分類	症　状
接続・画像閲覧	自動起動の設定を変更したい。
	リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。
	カメラを取り外したときに警告メッセージが表示されました。
	パソコンがカメラを認識しません（パソコンでカメラを利用できません）。
	「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。
	「カメラ/メディアの取り外し」画面で「カメラを取り外す」ボタンを押したら、「デバイスの取り外し中にエラーが発生しました。」が表示されました。
	FinePixViewer Sが自動起動するまで時間がかかります。
	専用USBケーブルを抜いたときや、リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。
	メディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。
その他	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	パソコンが正常終了しません。
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	Windows Media PlayerでAVIファイルを再生できません。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

トラブルシューティング（Macintosh編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（→99ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。
「トラブルシューティング」をご覧になるには、下記の手順をご参照ください。

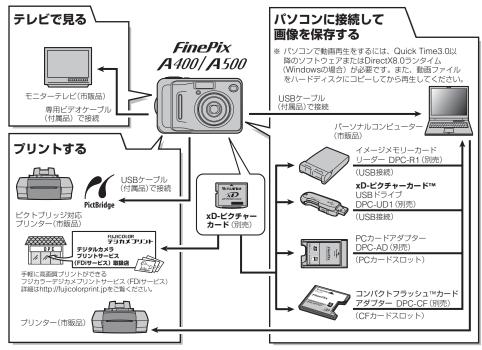
Mac OS X

■「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」を選択します。

- Mac OS X 10.3をお使いの方はプレビューをお使いください。

分類	症　状
接続・画像閲覧	USB接続したときに、Mac OSの「ディスクの初期化」が表示されました。
	カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブアイコンを表示しません。
	カメラからUSBケーブルを取り外したときに警告メッセージが表示されました。
インターネット	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。
	ネットサービス注文サイトへの画像アップロード中に通信エラーが出ます。 注文する画像の確認画面で画像が正しく表示されません。
その他	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	FinePixViewerが自動的に起動するのをやめたいのですが。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

システムアップ機器（別売）（平成18年2月現在）

別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊ デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。
＊ 本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。

別売アクセサリーの紹介　（平成18年2月現在）

使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※ 最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/ または http://finepix.com/

※ 価格はメーカー希望小売価格です。

● イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）

以下の種類がお使いいただけます。**xD-ピクチャーカード** には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。

本カメラはType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。

・ DPC-64（64MB）・DPC-128（128MB）・DPC-M256（256MB）・DPC-M512（512MB）
・ DPC-M1GB（1GB）

※すべてオープン価格

● 単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2500」（FNH HR AA 2B F）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 FNH HR AA 2B F」をお買い求めください。

※1,100円（税込み 1,155円）

● ニッケル水素／ニカド超急速充電器デジチャージプロ（FNW PRO 1 BX D）

単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2500」2本を約75分で充電できます。
海外でも使用可能な電圧（AC100V〜240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※6,300円（税込み 6,615円）

● ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージⅡ（FNW 1 BX F）

単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2500」2本を約125分で充電できます。
海外でも使用可能な電圧（AC100V〜240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円（税込み 4,725円）

● ACパワーアダプター AC-3VX

長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ または、http://finepix.com/ をご参照ください。

※4,000円（税込み 4,200円）

● ソフトケース SC-FXA04

ポリウレタン製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

● イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（ **xD-ピクチャーカード** 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。

・ Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
・ iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5））

※オープン価格

● PCカードアダプター DPC-AD

xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。

・ Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
・ Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

● コンパクトフラッシュ ™カードアダプター DPC-CF

xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。

・ Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
・ Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

● xD-ピクチャーカード™USBドライブ DPC-UD1

xD-ピクチャーカード 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SEを除いてドライバのインストールが不要です）。

「DPC-M1GB」など、「M」が付いている **xD-ピクチャーカード** でご使用になる場合は、ドライバのバージョンアップが必要になります。

・ Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
・ Mac OS 9.0〜9.2.2/X（10.0.4〜10.2.6）

※オープン価格

使用上のご注意

ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■ 避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、**xD-ピクチャーカード** に水滴がつくことがあります。このようなときは **xD-ピクチャーカード** を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、**xD-ピクチャーカード** を取り外して保管してください。

■ カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り換えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

次ページにつづく

単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として単3形ニッケル水素電池（以下ニッケル水素電池）は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は120ページをご参照ください。

注意

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小型充電式電池（ニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。
［ホームページ］http://www.jbrc.net/hp/

ACパワーアダプターについてのご注意

必ず専用のACパワーアダプター AC-3VX（別売、JEITA規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

 メモ

使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ または、http://finepix.com/ をご参照ください。

充電池放電の操作

充電池放電機能は、ニッケル水素電池（充電式電池）のみでご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。
以下のようなときに充電池放電をご使用ください。

- 充電後の使用可能時間が短くなったとき
- 長期間使用しなかったとき
- 新しくニッケル水素電池を購入したとき

カメラにACパワーアダプターを使用しているときは、充電池放電を行わないでください。外部から電源供給されるためカメラ内のニッケル水素電池は放電されません。

①“▶”（再生）ボタンを約1秒間押して、電源を入れます。

②メニューを表示します。

③“SET”各種設定を選びます。

④“SET-UP”を選びます。

⑤SET-UP画面を表示します。

⑥“見出し番号4”に切り換えます。

⑦“充電池放電”を選びます。

⑧確認画面を表示します。

⑨“MENU/OK”ボタンを押します。

⑩“実行”を選びます。

⑪放電を開始します。
電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了するとカメラの電源が切れます。

注意

放電中に操作を中止したいときは“DISP/BACK”ボタンを押します。

xD-ピクチャーカードTM、内蔵メモリーについてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（xD-ピクチャーカード）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ 内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、MOディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

- お客様または第三者が xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーの使いかたを誤ったとき
- カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーへアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
- その他、誤った使いかたをしたとき

メモ

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■ 取扱上のご注意

- xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- xD-ピクチャーカード の記録中、消去（フォーマット）中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
- 指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
- xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

次ページにつづく

- **xD-ピクチャーカード** には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
- **xD-ピクチャーカード** にはラベル類は一切はらないでください。**xD-ピクチャーカード** の出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい **xD-ピクチャーカード** とお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

メモ

xD-ピクチャーカード には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。
本カメラはType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。

■ xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとの **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーを使って撮影する場合、**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーのフォーマットはカメラで行ってください。
- **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンで **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリー上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm （幅×高さ×厚み）

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　置
（赤点灯） （赤点滅）	電池の残量が減っている、またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	• 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 • AFロック撮影をしてください（→34ページ）。
!AE	明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できない。	適正な明るさ（露出）ではありませんが、撮影できます。
フォーカスエラー **ズームエラー**	カメラが誤作動または故障している。	• レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 • 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードがありません	画像コピー時に **xD-ピクチャーカード** が入っていない。	**xD-ピクチャーカード** をセットしてください。
フォーマットされていません	• **xD-ピクチャーカード** 、内蔵メモリーがフォーマット（初期化）されていない。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 • カメラが故障している。	• **xD-ピクチャーカード** 、内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→81ページ）。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→81ページ）。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

次ページにつづく

警告表示	警告内容	処　置
カードエラー	• **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 • **xD-ピクチャーカード** のフォーマットが異常。 • カメラが故障している。 • **xD-ピクチャーカード** が壊れている。	• **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→81ページ）。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません 空き容量がありません IN空き容量がありません	内蔵メモリー、または **xD-ピクチャーカード** に空き容量がなく、これ以上記録、またはコピーできない。	画像を消去する（→40ページ）か、空き容量のある **xD-ピクチャーカード** を使用してください。
記録できませんでした	• **xD-ピクチャーカード** と本体の接触異常または **xD-ピクチャーカード** の異常のため記録できない。 • 撮影した画像が **xD-ピクチャーカード** の空き容量を超えて記録できない。	• **xD-ピクチャーカード** を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 • 新しい **xD-ピクチャーカード** を使用してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットした **xD-ピクチャーカード** で撮影したため、記録が間に合わなくなった。	カメラでフォーマットした **xD-ピクチャーカード** をお使いください。
コマNO.の上限です	コマNO.が999-9999に達している。	① フォーマットした **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします。 ② SET-UPメニューでコマNO.を「新規」にします（→79ページ）。 ③ 撮影します（コマNO.が「100-0001」より開始されます）。 ④ SET-UPメニューでコマNO.を「連番」にします。

警告表示	警告内容	処　置
再生できません	• 正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 • カメラが故障している。 • 本機以外で記録した静止画または動画を再生しようとした。	• 再生することはできません。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→81ページ）。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 • 再生することはできません。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください（→63ページ）。
画像がありません **IN画像がありません**	**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーに画像がないときに、**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリー へ画像をコピーしようとした。	画像をコピーすることはできません。
03Mトリミングできません	0.3Mの画像をトリミングしようとした。	トリミングはできません。
トリミングできません	• 本機以外で撮影した画像をトリミングしようとした。 • 画像が壊れている。	トリミングはできません。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	• USBケーブル（mini-B）の接続を確認してください。 • プリンターの電源が入っているか確認してください。

次ページにつづく

警告表示	警告内容	処　置
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	PictBridgeに関する表示。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は“MENU/OK”ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	PictBridgeに関する表示。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	PictBridgeに関する表示。	• 動画はプリントできません。 • 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

困ったときは

故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

■ 準備中

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
電池、 電源について	“POWER”（電源）ボタンを押しても電源が入りません。	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池を使ってください。	20、22、117
		電池を正しい向きで入れていますか？	電池を正しい方向で入れ直してください。	21
		電池カバーはきちんと閉まっていますか？	電池カバーをしっかり閉めてください。	21
		ACパワーアダプターは正しく接続されていますか？	ACパワーアダプターの接続部分をよく確認して、正しく接続してください。	84、119
	電池の減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	電池をポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	20、22、117
		電池の端子が汚れていませんか？	電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	22、117
		同じ電池を長期間使っていませんか？	電池の寿命の可能性があります。新品の電池と交換してください。	20、22、117
		長時間放置した充電式電池を使用していませんか？または、残量がある状態で繰り返し充電していませんか？	カメラの充電池放電機能を使用し、完全に放電してから再度充電してください。	120
	使用中に電源が切れてしまいました。	電池残量が少なくなっていませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	20、22、117
		ACパワーアダプターの接続が切れていませんか？	ACパワーアダプターをつなぎ直してください。	84、119

■ メニューなどの設定時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
液晶モニター表示について	メニューが英語で表示されています。	“SET-UP”の“言語/LANG.”が“ENGLISH”になっていませんか？	設定を“日本語”にしてください。	76、78

次ページにつづく

■ 撮影時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	✔ ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しい **xD-ピクチャーカード** を入れるか、不要なコマを消去してください。	23、40
		xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	76、81
		xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	**xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布でふいてください。	23、121
		xD-ピクチャーカード が壊れている可能性があります。	新しい **xD-ピクチャーカード** を入れてください。	23
		電池残量がほとんどないかもしれません。	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	20、22、117
		電源が切れていませんか？	電源を入れ直してください。	26
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しませんでしたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	49
ピントについて	ピントが合いにくいです。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	47
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	47
		オートフォーカスの苦手な被写体（→35ページ）を撮影しようとしていませんか？	AF/AEロック撮影をしてください。	34
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？	フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	49
		撮影モードが“▲”になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	44
		電池残量がほとんどないかもしれません。	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	20、22、117
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	撮影モードが“📷A、▲、🏃、☾”になっていませんか？	シーンに合わせた設定になるためフラッシュ設定が制限されます。フラッシュ設定を重視するときは撮影モードを変更してください。	44
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	47、49
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	30、33

■ 撮影時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	✔ ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに汚れなどついていませんか？	レンズを清掃してください。	116
		撮影時に“!AF”が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	31、34、123
		撮影時に“!✋”が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。しっかりとカメラを固定してください。	32、123
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCDの特性によるもので、故障ではありません。	—
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源が入っているときにACパワーアダプターの接続および取り外しをしませんでしたか？	ACパワーアダプターの接続および取り外しはカメラの電源が切れているときに行ってください。**xD-ピクチャーカード** の破損、パソコン接続時誤作動の原因になります。	104、119

■ 再生時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	✔ ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
消去について	1コマ消去でコマが消せません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。	63
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマNO.について	コマNO.の「連番」が機能しません。	電池や **xD-ピクチャーカード** を交換するときに電源を切らずに電池カバーを開けませんでしたか？	電池や **xD-ピクチャーカード** を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。	26

次ページにつづく

■ 接続時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	✔ ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
テレビとの接続について	テレビに画像が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	84
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	84
		“SET-UP”の“ビデオ出力”が“PAL”になっていませんか？	日本国内で使用する場合は“NTSC”にしてください。	76、78
	テレビの画像が黒白になってしまいました。	“SET-UP”の“ビデオ出力”が“PAL”になっていませんか？	日本国内で使用する場合は“NTSC”にしてください。	76、78
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USBケーブル（mini-B）が正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	105
		“SET-UP”の“USB設定”が“⇋ピクトブリッジ”になっていませんか？	下記手順に従って接続を解除したのち、設定を“⇋カードリーダー”にしてください。 • **Windows の場合** ①「新しいハードウェア」（または「スキャナとカメラ」）ウィザードが表示されます。ウィザードが表示されない場合は、③に進んでください。 ②［キャンセル］ボタンをクリックします。 ③ パソコンからカメラを取り外します。 • **Macintosh の場合** ① ドライバを探す画面などが表示されます。画面が表示されない場合は、③に進んでください。 ②［キャンセル］ボタンをクリックします。 ③ パソコンからカメラを取り外します。	104
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	“SET-UP”の“USB設定”が“⇋カードリーダー”になっていませんか？	“⇋ピクトブリッジ”にしてください。	85

■ その他

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	✔ ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	電池、ACアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	20、21、84、119
		電池の消耗が原因として考えられます。	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	20、22、117
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	電池、ACアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。	20、21、84、119、146

主な仕様

システム	
型番	FinePix A400/A500
有効画素数	410万画素（FinePix A400）/512万画素（FinePix A500）
撮像素子	1/2.5型スーパー CCD ハニカム HR 原色フィルター採用
記録メディア	内蔵メモリー（約12MB）/ **xD-ピクチャーカード**（16MB～1GB）
記録方式	静止画：DCF準拠 圧　縮：Exif Ver.2.2　JPEG準拠/DPOF対応 動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG）
記録画素数（ピクセル） (FinePix A400)	2304×1728/2304×1536/1600×1200/1280×960/640×480 （4M/3:2/2M/1M/03M）
記録画素数（ピクセル） (FinePix A500)	2592×1944/2592×1728/2048×1536/1600×1200/640×480 （5M/3:2/3M/2M/03M）
ファイルサイズ	別表（→134、135ページ）に記載
レンズ	名　称：フジノン光学式3倍ズームレンズ 焦点距離：f=6.4mm～19.2mm（35mmフィルム換算：約38mm～約114mm相当） 開放F値：F3.3～F5.5
デジタルズーム (FinePix A400)	約3.6倍（光学3倍ズームと併用　最大約10.8倍）
デジタルズーム (FinePix A500)	約5.2倍（光学3倍ズームと併用　最大約15.6倍）
絞り（広角端）	F3.3
撮影可能範囲	標　準：約60cm～∞ マクロ：約10cm～約80cm
撮影感度	AUTO、ISO 100/200/400
測光方式	TTL64分割測光

次ページにつづく

システム	
露出制御	プログラムAE
シーンポジション	（人物）/（風景）/（スポーツ）/（夜景）
露出補正	−2EV〜+2EV　1/3EVステップ（M時）
シャッタースピード	2秒〜1/1500秒（メカニカルシャッター併用）
フォーカス	モード：オートフォーカス AF方式：TTLコントラストAF AFフレーム選択：センター固定
ホワイトバランス	シーン自動認識オート/プリセット（晴天/日陰/昼光色蛍光灯/昼白色蛍光灯/白色蛍光灯/電球）
セルフタイマー	約10秒/約2秒
フラッシュ	方式：CCD調光によるオートフラッシュ 撮影可能距離（ISO：AUTO時）：　広　角：約60cm〜約3.1m 望　遠：約60cm〜約2m マクロ：約30cm〜約80cm
フラッシュ発光モード	オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ
ファインダー	実像式光学ファインダー　視野率約75%
液晶モニター	1.8型低温ポリシリコンTFT　7.7万画素（視野率 約94%）
動画	320×240ピクセル/160×120ピクセル　10フレーム/秒、1回の撮影で最長60秒（320設定時）/240秒（160設定時）の連続記録が可能　撮影中のズームはできません。
撮影時機能	フレーミングガイド（ベストフレーミング）、コマNO.メモリー
再生時機能	トリミング、オートプレイ、マルチ再生
その他の機能	PictBridge対応、Exif Print対応、PRINT Image MatchingⅡ対応、言語設定（日本語、ENGLISH）、世界時計（時差設定）、充電池放電

入出力端子

ビデオ出力	NTSC/PAL方式
デジタル入出力	USB
DC入力端子	専用ACパワーアダプター AC-3VX（別売）

電源部、その他

電源	単3形アルカリ乾電池 2本使用 単3形ニッケル水素電池 2本使用（別売） 専用ACパワーアダプター AC-3VX使用（別売）
電池作動可能枚数の目安	（下表参照）
本体外形寸法	93.0mm×60.0mm×27.5mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約126g（付属電池、**xD-ピクチャーカード** 含まず）
撮影時質量	約174g（付属電池、**xD-ピクチャーカード** 含む）
動作環境	温度0℃～＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

電池作動可能枚数の目安

電池の種類	撮影枚数
単3形アルカリ乾電池 LR6	約100枚
単3形ニッケル水素電池 HR-AA（ニッケル水素2500）	約400枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による電池寿命測定方法（抜粋）：アルカリ乾電池は付属のものを使用。ニッケル水素電池は富士フイルムイメージング製ニッケル水素電池2500を使用。記録メディアは **xD-ピクチャーカード** を使用。液晶モニターON、温度（＋23℃）、30秒ごとに1回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2回に1回フラッシュをフル発光、10回に1回電源OFF/ONして撮影。

•注意： アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

次ページにつづく

■ xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリー標準撮影枚数/記録時間（FinePix A400）

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	4M F	4M N	3:2	2M	1M	03M	動画 320	動画 160
記録画素数	2304×1728（約398万）		2304×1536（約354万）	1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	2.0MB	980KB	880KB	630KB	460KB	130KB	—	—
内蔵メモリー（約12MB）	5	11	13	19	25	93	1分11秒	3分40秒
DPC-16（16MB）	7	15	17	25	33	122	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	15	31	35	50	68	247	3分9秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	32	64	72	101	137	497	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	64	128	144	204	275	997	12分44秒	39分3秒
DPC-256/M256（256MB）	129	257	290	409	550	1997	25分30秒	78分11秒
DPC-512/M512（512MB）	259	515	580	818	1101	3993	51分0秒	156分20秒
DPC-M1GB（1GB）	519	1031	1162	1639	2205	7995	102分8秒	313分0秒

DPC-M256、DPC-M512、DPC-M1GBの xD-ピクチャーカード を使って撮影したとき、画像ファイルの記録と消去（コマ消去）を繰り返すと、動画記録時間がまれに短くなることがあります。
このような場合には、全コマ消去またはフォーマットしてからお使いください。
消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

＊ 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊ 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊ レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

■ xD-ピクチャーカード、内蔵メモリー標準撮影枚数/記録時間（FinePix A500）

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は **xD-ピクチャーカード**の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	5M F	5M N	3:2	3M	2M	03M	動画 320	動画 160
記録画素数	2592×1944（約504万）		2592×1728（約448万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	2.5MB	1.2MB	1.1MB	780KB	630KB	130KB	—	—
内蔵メモリー（約12MB）	4	9	10	15	19	93	1分11秒	3分40秒
DPC-16（16MB）	6	12	13	19	25	122	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	12	25	28	40	50	247	3分9秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	25	50	56	81	101	497	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	51	102	113	162	204	997	12分44秒	39分3秒
DPC-256/M256（256MB）	102	204	228	325	409	1997	25分30秒	78分11秒
DPC-512/M512（512MB）	205	409	456	651	818	3993	51分0秒	156分20秒
DPC-M1GB（1GB）	412	819	913	1305	1639	7995	102分8秒	313分0秒

DPC-M256、DPC-M512、DPC-M1GBの **xD-ピクチャーカード**を使って撮影したとき、画像ファイルの記録と消去（コマ消去）を繰り返すと、動画記録時間がまれに短くなることがあります。
このような場合には、全コマ消去またはフォーマットしてからお使いください。
消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

＊ 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊ 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊ レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV	：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。 CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。
Exif（イグジフ） ファイル形式	：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。
JPEG（ジェイペグ）	：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
Motion JPEG （モーション ジェイペグ）	：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows ：Windows Media Player ＊DirectX8.0以降必要 Macintosh：QuickTime Player ＊QuickTime3.0以降
スミア	：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。
デジタルズーム	：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。
不活性	：ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。 不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。
フレームレート	：フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。 参考 テレビは約30フレーム/秒です。
ホワイトバランス	：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。
メモリー効果	：ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

索引

カメラ編

◆一覧表リスト◆

【アイコン（抜粋）】詳細は本文をご参照ください。

【A～L】

【M～X】

次ページにつづく

【あ】

【か】

【さ】

次ページにつづく

ソフトウェア編

◆一覧表リスト◆

【A～Z】

【あ～ん】

ソフトウェアのお問い合わせは

1 お問い合わせの前に、次のような方法で調べることができます。

インストール

本書を読みながら、インストールしてください。

FinePixViewerの使い方

「ヘルプ」ボタンをクリックして、「FinePixViewerの使い方」から使い方を調べることができます。

エラーメッセージの意味

トラブルシューティングをご参照ください。

コンピュータ用語

インターネットで、「コンピュータ用語」を検索してください。

パソコンの操作方法

Windows　:「スタート」メニューの「ヘルプ」から調べることができます。
Macintosh : Mac OS（Finder）の「ヘルプ」メニューの「Mac ヘルプ」から調べることができます。

2 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ（http://fujifilm.jp/support/dc/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 FAX、電話でお問い合わせください。より早く正確な回答のために、143ページのご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

- カメラの機種名
- FinePixViewerのバージョンまたはCD-ROMのタイトル
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ /トラブルが発生する直前の操作は？ /カメラの状態は？ /トラブルが発生する頻度は？

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●FinePixViewerに関するお問い合わせは…

—— 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ ——

・弊社ホームページ…http://fujifilm.jp/support/dc/index.html

・富士フイルムFinePixサポートセンター

市内通話料でOK®

0570-00-1060

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・ＰＨＳ・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は

TEL：0424－81－1673

（月曜日～金曜日 午前９：00～午後5：40　土曜日 午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く）

ファクスをご利用の場合は…FAX：0424－81－0162

（24時間受付：返信対応は電話の受付時間と同一です）

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をA4サイズにコピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

フ リ ガ ナ			
お 名 前			
ご 住 所	〒 ー		
電 話 番 号	（ ） ー	ファクス番号	（ ） ー
E-mail			
ご 記 入 日	年 月 日		
カメラの機種名			
FinePixViewerのバージョンまたはCD-ROMのタイトル			
コンピュータ機種名		OSバージョン	
メ モ リ 容 量	MB	ハードディスク容量	GB
接 続 機 器 名		そ の 他	
エラーメッセージなど			
ご質問内容			

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保障期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店またはサービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePixサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

当社サービスステーションに修理をご依頼ください。サービスステーションのリストが裏表紙に、主なサービスステーションの地図が146ページにあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。なお、集配ルートの都合上、サービスステーションに直接ご依頼いただくと、お預かりの期間は短くなります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下･衝撃､砂･泥かぶり､冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後８年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePixサポートセンター等のお問合せ先、あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●FinePixクイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが3日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】

  インターネット ：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：　03-3436-2224
  ファクス：03-3431-3470

  申し込みに際し、144ページの「個人情報の取扱について」をご確認下さい。

- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●FinePix特急30分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- サービスステーションは下記７箇所です。

東京 大阪 名古屋	146ページの地図を参照下さい。
札幌 仙台 広島 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご覧ください。

- 専任技術者が対応しますので、その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払い下さい。

●サービスステーションへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

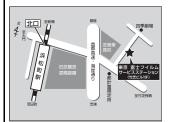
●お買上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認下さい。

次ページにつづく

■ 修理に関する情報は

- 修理サービスQ&A
  http://www.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
  修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
- 修理納期検索サービス
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
  東京もしくは大阪のサービスステーションに修理依頼品を送付あるいは持込された場合、修理完了予定日を検索することができます。
- FinePix修理概算見積サービス
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php
  当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

★東京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315

★大阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851

【受付時間】
東京・大阪・名古屋：
　月～金　9：00～17：40
　土　　　10：00～17：00
　日・祝日・年末年始を除く

札幌・仙台・広島・福岡：
　月～金　9：00～12：00
　　　　　13：00～17：40
　土・日・祝日・年末年始を除く

・地図は、当社ホームページ
　http://fujifilm.jp/をご覧ください。

富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル

0570-00-1060
市内通話料金でご利用いただけます

/ 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は 0424-81-1673

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX　0424-81-0162
受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/ または　http://finepix.com/
弊社ホームページの自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

●修理の受付は…
富士フイルムサービスステーションではお客様の利便性向上のため、各種の修理サービスを用意しております。
お気軽にご利用ください。

サービスステーション名および住所・電話番号			
東京	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル 10F	(03)3436-1315
大阪	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル 3F	(06)6260-0915
名古屋	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	(052)202-1851
札幌	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 3F	(011)222-3973
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル 1F	(022)265-2149
広島	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター 11F	(082)256-3511
福岡	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1 富士フイルム 福岡ビル 3F	(092)281-4863

■お急ぎの場合は、全国どこからでも
【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が3日の宅配修理サービス

■お近くにサービスステーションがあれば
【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL　03-3406-2982

FPT/Y-507112-PW